



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月1日

上場会社名 シミックホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2309 URL <http://www.cmic-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 中村 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 望月 渉

四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日

配当支払開始予定日

TEL 03-5745-7070

平成25年6月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	25,209	2.9	2,606	27.8	2,562	27.2	1,333	△17.1
24年9月期第2四半期	24,500	14.8	2,039	△7.9	2,014	△9.9	1,608	54.9

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 1,596百万円 (△6.9%) 24年9月期第2四半期 1,714百万円 (61.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	73.98	—
24年9月期第2四半期	88.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	45,032	19,724	43.7
24年9月期	42,265	18,703	44.0

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 19,664百万円 24年9月期 18,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	15.50	—	19.50	35.00
25年9月期	—	17.50	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,200	5.8	4,300	9.7	4,200	9.5	2,300	2.6	126.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信 添付資料4ページ「2 サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	18,221,860 株	24年9月期	18,221,860 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	223,500 株	24年9月期	32,820 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	18,030,527 株	24年9月期2Q	18,189,190 株

(注)自己株式数については、株式給付信託(J-ESOP)が所有する当社株式(25年9月期2Q:190,000株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11
4. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界におきましては、薬価改定や後発医薬品の普及促進等を通じた医療費抑制策の推進、主力製品の特許切れ、世界的な新薬の承認審査の厳格化等の影響により厳しい事業環境が続いております。一方、当社グループが属する医薬品の開発、製造、営業を支援する業界におきましては、各業務の迅速化及び効率化を目指したアウトソーシングニーズの拡大を背景として、市場規模が緩やかに拡大する一方、企業合併や異業種からの新規参入等、業界再編も進みつつあります。

このような環境下において、当社グループは、製薬企業の付加価値向上に貢献する当社独自の事業モデルであるPVC (Pharmaceutical Value Creator) を展開し、CRO (医薬品開発支援) 事業、CMO (医薬品製造支援) 事業、CSO (医薬品営業支援) 事業、ヘルスケア事業、IPD (知的財産開発) 事業において、製薬企業の開発、製造、営業・マーケティングのバリューチェーンを広範に支援しております。また、今後はこれらの経験を活かしてさらに広く健康を支える事業の確立を目指し、ヘルスケア分野のリーディングカンパニーとなるべく、ビジネスを展開してまいります。

当第2四半期連結累計期間においては、平成24年11月13日発表の中期計画に基づき、各事業において既存事業の強化及び新規施策に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間の業績は、CRO事業を中心に堅調に推移したこと等より、売上高は25,209百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は2,606百万円(同27.8%増)、経常利益は2,562百万円(同27.2%増)となりました。四半期純利益は、平成24年3月に実施した完全子会社同士の合併に伴う税金費用の減少という前年同期の一時的要因がなくなったこと等により、1,333百万円(同17.1%減)となりました。

セグメント別の業績の状況は以下のとおりです。

〔CRO事業〕

売上高	10,098百万円	(前年同期比	1,094百万円増、	12.2%増)
営業利益	2,225百万円	(同	335百万円増、	17.8%増)

当事業においては、製薬企業の医薬品開発支援に係る業務を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、モニタリング業務において新規受注及び既存案件が順調に進捗したこと等により売上高が前年同期を上回りました。また、営業利益につきましても、モニタリング業務を中心に全般的に業務が順調に進捗したこと、非臨床業務においてプロジェクトが前倒しで進捗し採算が改善したこと等により、営業利益は前年同期を上回りました。

〔CMO事業〕

売上高	8,094百万円	(前年同期比	398百万円減、	4.7%減)
営業利益	893百万円	(同	116百万円増、	15.0%増)

当事業においては、製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製造支援及び分析化学サービスに係る業務を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、シミックCMO株式会社の一部製品の出荷時期が下期に変更になったこと等により売上高が前年同期を下回りました。一方、営業利益は、製造費用の圧縮に伴う原価率の改善等により、営業利益は前年同期を上回りました。

〔CSO事業〕

売上高	1,963百万円	(前年同期比	670百万円減、	25.5%減)
営業利益	77百万円	(前年同期	営業損失	11百万円)

当事業においては、主に製薬企業の営業・マーケティング支援に係る業務を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、ヨーロッパ最大級のCSO「Ashfield Group」の日本法人であるAshfield株式会社と提携し、日本における新たなサービスモデルの提供を開始しました。また、前期受注した大型プロジェクトについて、顧客の方針変更による早期終了がありました。新規大型プロジェクトを獲得するなど、引き続き受注活動の強化に取り組んでおります。MR(医薬情報担当者)派遣業務の売上高は増加する一方、平成24年7月よりエムディエス株式会社(現エムディエス・シーエムジー株式会社)が持分法適用会社となったため、CSO事業全体の売上高は前年同期を下回りました。利益面では、MR派遣業務の採算改善により営業黒字を確保しました。

〔ヘルスケア事業〕

売上高	5,296百万円（前年同期比	701百万円増、	15.3%増）
営業利益	680百万円（同	304百万円増、	80.8%増）

当事業においては、SMO（治験施設支援）業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、主力のSMO業務を行うサイトサポート・インスティテュート株式会社においてプロジェクトが順調に進捗したこと、医薬・医療に特化した一般派遣業務等を行う株式会社シミックBSの売上が増加したこと等により、売上高及び営業利益が前年同期を大幅に上回りました。

〔IPD事業〕

売上高	121百万円（前年同期比	88百万円増、	265.4%増）
営業損失	418百万円（前年同期	営業損失	261百万円）

当事業においては、診断薬や希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）などの開発及び販売に係る業務を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、当社が腎疾患の診断を目的として開発した体外診断用医薬品「ヒトL型脂肪酸結合蛋白キット（販売名：レナプロ®L-FABPテスト）」について、平成24年10月にヨーロッパ欧州連合の安全規格に製品が適合していることを示す「CEマーク」を取得し、同年12月より欧州販売名「RENISCHEM®」としてデンマークでの販売を開始いたしました。

希少疾病用医薬品については、尿素サイクル異常症用治療薬「ブフェニール®（一般名：フェニル酪酸ナトリウム）」が平成24年9月に、急性ポルフィリン症治療薬「ヒトヘミン」が平成25年3月に製造販売承認を取得しております。遺伝性血管性浮腫治療薬「エカランタイド」は開発の段階にあります。「ブフェニール®」につきましては、希少疾病用医薬品を中心とした医薬品の製造販売を行う連結子会社 株式会社オーファンパシフィックに製造販売承認を承継し、平成25年1月より販売を開始いたしました。

当事業は希少疾病用医薬品及び診断薬にかかる研究開発費の計上並びに株式会社オーファンパシフィックにおける販売立ち上げにかかる費用等の計上により、営業損失が発生しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比で2,767百万円増加し、45,032百万円となりました。これは、主に現金及び預金、有形固定資産及び仕掛品の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末比で1,746百万円増加し、25,308百万円となりました。これは、主に長期借入金及び退職給付引当金の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末比で1,020百万円増加し、19,724百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期決算短信（平成24年11月7日付）にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,400	10,512
受取手形及び売掛金	8,028	7,746
商品及び製品	112	65
仕掛品	3,577	3,910
原材料及び貯蔵品	1,578	1,530
その他	2,799	2,662
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	24,486	26,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,574	4,462
土地	4,622	4,662
その他（純額）	3,057	3,796
有形固定資産合計	12,254	12,921
無形固定資産		
のれん	1,341	1,142
その他	825	881
無形固定資産合計	2,166	2,024
投資その他の資産		
投資有価証券	663	852
敷金及び保証金	1,206	1,226
その他	1,507	1,616
貸倒引当金	△20	△25
投資その他の資産合計	3,357	3,669
固定資産合計	17,779	18,615
資産合計	42,265	45,032

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,536	1,502
短期借入金	5,496	5,315
未払法人税等	924	1,157
賞与引当金	1,764	1,694
役員賞与引当金	29	—
受注損失引当金	244	242
その他	4,585	4,784
流動負債合計	14,581	14,696
固定負債		
長期借入金	5,460	6,792
退職給付引当金	2,806	3,051
その他	714	768
固定負債合計	8,980	10,612
負債合計	23,561	25,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,087	3,087
資本剰余金	6,292	6,292
利益剰余金	9,479	10,458
自己株式	△44	△256
株主資本合計	18,814	19,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93	192
為替換算調整勘定	△319	△109
その他の包括利益累計額合計	△226	82
少数株主持分	114	59
純資産合計	18,703	19,724
負債純資産合計	42,265	45,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	24,500	25,209
売上原価	18,786	18,783
売上総利益	5,714	6,426
販売費及び一般管理費	3,675	3,819
営業利益	2,039	2,606
営業外収益		
受取利息	6	6
受取賃貸料	10	7
為替差益	42	85
持分法による投資利益	—	39
受取管理料	25	—
その他	21	42
営業外収益合計	106	180
営業外費用		
支払利息	77	72
出資金等持分損失負担額	37	—
持分法による投資損失	4	—
契約精算金	—	116
その他	11	36
営業外費用合計	130	225
経常利益	2,014	2,562
特別利益		
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除却損	7	9
その他	3	—
特別損失合計	10	9
税金等調整前四半期純利益	2,007	2,553
法人税、住民税及び事業税	554	1,199
法人税等調整額	△150	77
法人税等合計	403	1,277
少数株主損益調整前四半期純利益	1,604	1,275
少数株主損失(△)	△4	△58
四半期純利益	1,608	1,333

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,604	1,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	98
為替換算調整勘定	96	210
持分法適用会社に対する持分相当額	4	10
その他の包括利益合計	110	320
四半期包括利益	1,714	1,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,715	1,642
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△46

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,007	2,553
減価償却費	796	886
のれん償却額	207	199
受取利息及び受取配当金	△6	△6
支払利息	77	72
出資金等持分損失負担額	37	—
売上債権の増減額 (△は増加)	214	339
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,975	△222
仕入債務の増減額 (△は減少)	328	△46
その他	410	535
小計	2,098	4,309
利息及び配当金の受取額	5	6
利息の支払額	△76	△66
損害賠償金の支払額	—	△93
法人税等の支払額	△1,174	△1,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	853	3,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△292	△128
定期預金の払戻による収入	292	265
有形固定資産の取得による支出	△1,328	△1,376
無形固定資産の取得による支出	△111	△83
出資金の払込による支出	—	△60
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	—	△47
その他	△1	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,441	△1,445
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,500	△550
長期借入れによる収入	—	2,200
長期借入金の返済による支出	△514	△498
リース債務の返済による支出	△81	△86
配当金の支払額	△309	△354
自己株式の取得による支出	△0	△212
その他	△56	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	538	499
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	73
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15	2,222
現金及び現金同等物の期首残高	8,027	8,144
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,012	10,367

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等
(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	CRO事業	CMO事業	CSO事業	ヘルスケア 事業	IPD事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,920	8,472	2,564	4,510	33	24,500	—	24,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	83	21	70	84	—	258	△258	—
計	9,003	8,493	2,634	4,594	33	24,759	△258	24,500
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,889	777	△11	376	△261	2,770	△731	2,039

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△731百万円には、セグメント間取引消去等1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△733百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）に係る費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	CRO事業	CMO事業	CSO事業	ヘルスケア 事業	IPD事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,005	8,080	1,793	5,208	121	25,209	—	25,209
セグメント間の内部 売上高又は振替高	92	13	169	88	0	364	△364	—
計	10,098	8,094	1,963	5,296	121	25,574	△364	25,209
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,225	893	77	680	△418	3,459	△852	2,606

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△852百万円には、セグメント間取引消去等△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△851百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）に係る費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
(重要な事業の譲受)

当社の連結子会社であるシミックPMS株式会社(平成25年2月28日設立)は、平成25年4月1日付で株式会社日本アルトマークより同社のCRO事業を譲り受けました。

1. 譲り受ける相手会社の名称及びその事業内容

① 商号	株式会社日本アルトマーク
② 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 金坂 光夫
③ 資本金	55百万円
④ 事業内容	Medical Data Base 事業、CRO事業(製造販売後調査・安全性業務受託)

2. 対象となった事業の内容

CRO事業(製造販売後調査・安全性業務受託)

3. 事業の譲受の理由

株式会社日本アルトマークのPMS(製造販売後調査)事業のノウハウ・経験とシミックグループが持つPVC機能との融合により、PMS事業のバリューチェーンを網羅するサービスモデルの構築を図り、顧客満足度の最大化と更なる事業成長が期待できるため、同社の事業を譲り受けることといたしました。

4. 譲受日

平成25年4月1日

5. 企業結合の法的形式

事業譲受

6. 譲受けた事業の取得原価及びその内訳

取得の対価(現金)	561百万円
取得に直接要した費用(アドバイザー費用等)	－百万円

取得原価	561百万円
------	--------

7. 事業譲受日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	197百万円
固定資産	17百万円
資産合計	215百万円
流動負債	16百万円
固定負債	－百万円
負債合計	16百万円

8. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれんの金額

362百万円

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

③ 償却方法及び償却期間

5年間の均等償却

4. 補足資料

受注の状況
受注実績

(単位：百万円)

報告セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)		前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
CRO事業	15,036	28,861	12,948	31,897	24,994	28,954
CMO事業	9,206	3,658	8,377	3,475	17,427	3,179
CSO事業	2,543	3,183	1,438	3,450	5,573	3,805
ヘルスケア事業	5,719	12,735	4,614	12,637	11,010	13,230
IPD事業	33	—	121	—	71	—
合計	32,540	48,438	27,499	51,461	59,077	49,171

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。

3. CMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上しております。顧客からは、年間ベースの発注計画等の提示を受けていますが、確定注文とは異なりますので受注残高には含めておりません。